

電機労働者懇談会

発行者：ELIC編集委員会谷口利男
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8
電話(03)6421-5323 染野ビル2F
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

Electric Labor and Industry Correspondence

ELIC

2015年12月10日

No 336

1部100円

日立は雇用と地域経済を守れ！

日立リストラ神奈川対策会議結成総会開く

11月28日(土)午後、神奈川労働プラザにおいて「日立リストラかながわ対策会議」結成総会が開かれ、神奈川労連関係、地域民主団体、電機懇・日立懇・電機情報ユニオンなどから15団体54名が参加しました。

総会は神奈川電機懇今井節生代表の司会ですすめられ、神奈川労連山田副議長が結成準備会を代表して主催者挨拶、「労働者の雇用と地域経済を破壊するリストラとの闘いとともに、仲間をふやして反撃することが重要」と述べられました。

来賓の岩崎ひろし横浜市議員(戸塚区選出)が挨拶、戸塚事業所の労働者の闘いを激励するとともに、日立の身勝手なリストラが地域の環境や経済に打撃を与えている、職場と地域が一体となった運動が必要と発言されました。

はたの君枝衆議院議員からは、日立の黒字リストラが産業界に波及したらますます雇用破壊がすすむと指摘、国政の場でも追及すると述べられ、日本共産党神奈川県会議員団よりのメッセージも紹介されました。

自由法曹団神奈川支部を代表して藤田温久弁護士から「この運動は解雇自由社会をめざす安倍政権と財界の戦略を打ち破る重要な闘い、団としてサポートする方向で議論したい」と発言がありました。

電機・情報ユニオン米田徳治中央執行委員長が「電機大リストラの特徴と闘いの成果と・教訓」と題して1時間にわたり基調講演をしました。27万人を超すリストラ、特にパナソニック、NEC、ルネサスでのやり口の酷さとユニオンとしての対処と成果について触れ、「企業が自ら参加し認めている国際労働基準(国連グローバルコンパクト)の実践を企業側に迫り、守らない企業を社会的に糾弾することが重要」と述べ、日立懇の馬場豊彦副代表が「日立の経営方針・戦略」についてプロジェクターを使って詳しく報告しました。



グローバル展開をめざすなかで、営業利益率の目標達成のために、売上が伸びなくても利益を出せる体質づくり、固定費削減の手法はコストカット=人件費削減にあることをデータで解析し、参加者からはわかりやすいと好評でした。

神奈川県内の日立で闘っている3人の労働者の発言のあと、結成準備会としての経過報告と会則ならびに役員を電機・情報ユニオン神奈川支部中村由紀子委員長が提案後、承認された役員を代表して森英一代表委員が閉会挨拶、がんばろー三唱で結成総会を締めくくりました。主な役員は、代表委員に神奈川労連・福田裕行議長、かながわ総研・岡本一理事、電機・情報ユニオン森英一本部書記長、事務局長に電機・情報ユニオン神奈川支部中村由紀子委員長です。

今月号の紙面

- ①日立リストラ対策会議結成総会
- ②16春闘アンケート葉書配布行動
- ③ルネサス経営施策全国反撃ピラサンケンの職場に宣伝行動実施
- ④ルネサスでのSIPの実態
- ⑤OAKの「第31回」年次総会
- ⑥ラプラス[北海道旅行]古荘さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧16春闘「電機のとどい」案内状
16春闘旗開き。集積回路